



富山県SDGs宣言実施状況報告書



令和7年4月1日

企業・団体名 社会福祉法人 萬葉の杜福祉会

代表者名 理事長 松谷 三和

富山県SDGs宣言において宣言した取組みの実施状況について、下記の通り報告します。

記

1 取組み期間 令和3年7月11日（宣言日）～令和7年3月31日

2 取組みの実施状況

No.	SDGsの達成に向けた目標と取組の実施状況
1	【目標】 スタッフが長く働きやすい職場環境を創る。 【実施状況】 *子育てや介護を支援し、スタッフが子供の用事・送迎、家族の受診付添に合わせて、希望公休に対して柔軟に応じている。 *子(孫)育て中のスタッフの公休はできるだけ、土日を中心にシフトを組んでいる。 *全スタッフは身体・健康診断を年1回以上、リーダー層は心の健康のためカウンセリングを年2回行っている。 *高齢スタッフには、わかりやすい言葉で業務伝達を行い、働き続けられる環境を整えている。 *スタッフへの協力を得て、病気や障害を持つスタッフには業務内容の工夫を行っている。
2	【目標】 質の高い福祉サービス提供のため公欲的学びを止めない。 【実施状況】 *福祉業界発展とサービスの質向上のため、9割以上のスタッフが、OJT・OFF-JTに参加した。年1回の全体研修では、「人生を良くする働き方」をテーマにして、ポジティブ心理学の一部を学び好評だった。 *中国湖南省 湖南交通工程学院医療学院の教授・教員スタッフ29名が、日本の介護を学ぶために訪問され、日本の介護施設の経営、理念、自立型・地域密着型介護についてスタッフと一緒に学んだ。 *スタッフの資格取得に向けた支援を実施している（研修費の補助、勤務の配慮等）。プロフェッショナル対人援助技術研修では、6名のケアマネジャーが質の高いコミュニケーションや接遇を学んだ。 *家族介護教室（腰痛予防）を実施し、地域の方との学び交流を行った。
3	【目標】 廃棄物ロスのゼロを目指す。 【実施状況】 *災害用備蓄食材の賞味期限が近い物については、献立に創意工夫して盛り込んで廃棄を防いだ。 *令和7年1月1日の能登半島地震に寄付された水は、賞味期限が近い物から活用した。 *月1回、委託先の給食会社と、人気のあるメニュー、人気のないメニューを確認して廃棄物削減に取り組んだ。 *紙パッドの廃棄が少なくて済むように、夜間4～5枚使用していた利用者様には、吸収量が多いパッドを1枚だけ使用することに挑戦している。

※宣言日（ウェブサイト掲載日）から3か月に満たない場合は、翌年度からの報告となります。